



国会前

抗議行動をする全国から集まつた学生たち

国会前



パリ

29日、パリで戦争法案反対を訴えるママたち
リレーで走り、戦争法案反対を訴えます。大人ら島崎編集部

"法案通すな!"

大阪



徳島



潮流

立つことは恥ずべきことではあります。『奴ら』は誰か。1938年の総選挙で勝利した人民戦線政府の転覆はかうとした、フランスの反乱軍です。フランスの武闘援助を受けたフランシス・ラムサード博士の行動での女子拳手の胸打つスピーチの一節です。この決意を見て、79年前スペイン内戦でドロレス・イバルガが発した、「ひときわ生きるより、立ちはだかって死ぬ」というよびかけを思い出しました。内戦が始まると翌日、ラジオで流れたスペイン共産党的女性指導者の言葉です。イバルガは「いつにもなりしかった死ぬ」というよびかけを遺しました。内戦が始まると、人々が熱い思いを込め、戦争法を通りました。以来新聞で報じられて、マドリードの通りに渡った橋断幕で繰り返し使われ、反ファシズム闘争の合言葉でたたかいで戦いました。日本でもたまに「アバランチ」(奴ら)を通りました。以来新聞で報じられています。きょうは全國各地同じ思いをもつた100万人が声をあげます。